

## 現場受入検査手順

弊社の高力ワンサイドボルトの軸力導入試験で使用する軸力計は弊社提供の油圧式軸力計の使用をお勧めします。この油圧式軸力計は前田金属製(TMC-400)ですが、できるだけ短いグリップのボルトでも測定できるように専用治具を装着しております。

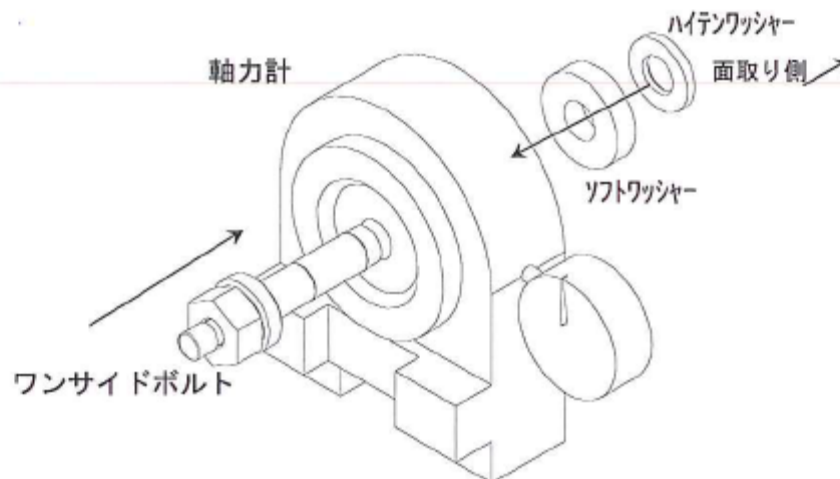
しかしながら構造上、測定できるボルトはグリップサイズが45以上のものになります。

(軸力計の表プレート表面から裏プレート表面までの距離が29mmになっています)

測定の際は、以下の図のようにソフトワッシャーと必要に応じて同呼び径のハイテンワッシャーを組合せて

$29\text{mm} + \text{ソフトワッシャー厚み} (+ \text{ハイテンワッシャー厚み}) = \text{グリップレンジ内}$

になるようにグリップ長を調整して下さい。また、ハイテンワッシャーを使用する時は必ず面取り付きのものを使用して、面取り側が外側(ボルト頭側)になるようにして下さい。



- 手順は
- 1 ボルトを軸力計孔に挿入して座面を軸力計に突き当てる。
  - 2 手でソフトワッシャーとハイテンワッシャー(必要に応じて)を軸力計裏側に押し当てながらもう一方の手のレンチでワンサイドボルトを締付ける。  
ボルトの頭部分がある程度膨らんだ時点でワッシャーから手を離してもよい。
  - 3 約30秒でシャワッシャーがパチンという音で破断するが、そのまま締付けを継続すると軸力が上がってゆき、ピンテール破断で締付けが完了する。

締付けたワンサイドボルトを軸力計から取り外すには、以下の二面巾のメガネレンチやナットランナーでナットを緩めます。

MUT F 20 : 32mm

MUT F 24 : 41mm

MUT F 27 : 46mm